

## グローバルビジネス -Global Business-

金融・流通・公共分野で培ったノウハウをグローバルに展開するとともに、サプライチェーン全体を通してお客様に環境負荷の少ない製品・サービスを提供しています。

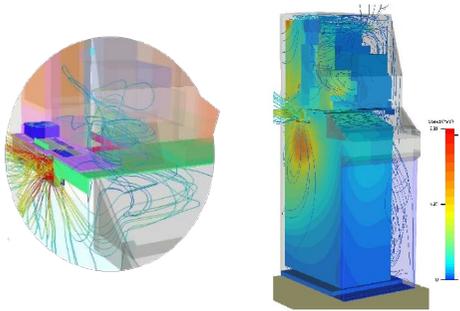
### 「第9期環境行動計画」への取り組み

#### エネルギー効率向上の追求

ICT製品に関するエネルギー規制が強化されていく中、GHG排出量の削減に向けた製品使用時の省エネルギー化はメーカーとして必須の取り組みであることから、エネルギー効率がトップレベルとなる製品の開発を推進しています。第9期においては、「2013年度比14%以上の削減」の指標に対し、17.2%で目標を達成しました。

### シミュレーション

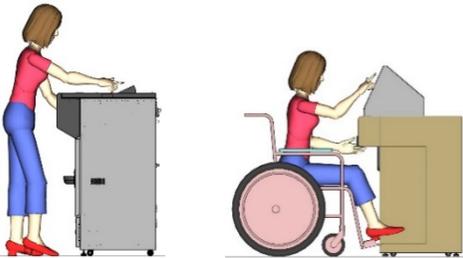
#### <熱流体解析シミュレーション>



製品のエネルギー効率向上を目的としシミュレーションを実施しています。

例えば、空気の流れを検証することで開口部より熱が十分に排気されず装置内部に回り込みがあるとわかれば構造を見直すなど、稼働時に適切な温度となるように繰り返しシミュレーションを行っています。

#### <エルゴノミクス\*1シミュレーション>



製品の組立性、操作性、保守性などをバーチャルに検証することで開発コストの削減を図っています。

また、ユーザーの立場から検証を重ねることによって、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインを追求しています。

\*1：人と機械の関係を「マン・マシン・システム」として捉え、人と機械の最適な関係づくり、つまり「人と機械の最適化」を目指すもの。

### グリーン調達

富士通グループでは、環境に配慮した部品・材料や製品の調達に関する基本的な考え方を「富士通グループグリーン調達基準」としてまとめ、国内外のお取引先とともにグリーン調達活動を推進しています。

また、2020年度は、SDGs貢献への意識およびCSRの観点から「責任ある鉱物調達」活動を加速させた年になりました。具体的には、企業活動を通じて武装勢力による人権侵害や紛争へ加担しないため、自らのサプライチェーンを精査することで、鉱物リスクを回避する活動を進めました。また、お取引先のご協力の下、紛争に関与していない鉱物調達を行っていることをご報告いただいております。

12

つくる責任  
つかう責任

### 含有化学物質管理

#### 含有化学物質管理システムの構築

製品の部材系調達にかかわるお取引先には、化学物質を適正に管理していただくため、JAMP\*2が業界標準として定める「製品含有化学物質管理ガイドライン」に基づく含有化学物質管理システム（CMS\*3）の構築をお願いし、サプライチェーンにおける製品含有化学物質の管理を強化しています。

\*2：JAMP/アークティクルマネジメント推進協会（Joint Article Management Promotion-consortium）

\*3：CMS/製品含有化学物質管理システム（Chemical substances Management System）

#### 含有化学物質情報の入手

法規制を順守し含有規制物質による人の健康への悪影響や、環境汚染を未然に防止することを目的に、お取引先のご協力のもとJAMPが運用する情報伝達スキームchemSHERPA\*4などにより製品の含有化学物質情報を調査し、入手情報は社内システムにて共有しています。

\*4：chemSHERPA-製品含有化学物質情報伝達の共通スキーム

（Chemical information Sharing and Exchange under Reporting Partnership in supply chain）

### お取引先とのコミュニケーション

当社では毎年お取引先懇親会を開催していましたが、2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より中止とさせていただき、当社の事業活動に顕著な貢献をされたお取引先に対して、感謝状と記念品をお届けする形としました。